

## マーケットの動き（2025年1月14日～1月17日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利はほぼ横ばいでした。

週初は、日銀の高官らから1月の日銀金融政策決定会合での追加利上げが示唆されたことを受け、債券は売られ金利は上昇しました。その後、15日発表の2024年12月の米国CPI（消費者物価指数）の結果よりインフレ再燃への警戒感が後退したことで米国長期金利が低下した流れなどから国内長期金利は低下し、前週末比ほぼ横ばいで週を終えました。

クレジット市場は、堅調に推移しました。

## 投資環境見通し（2025年1月）

## 国内長期金利の上昇圧力は残る

日銀総裁は12月の利上げ見送りの際に、今後の追加利上げのタイミングについてはさまざまなデータや情報を丹念に点検したうえで判断していく必要があるとの認識を示しました。日銀の追加利上げが後ずれするとの見方が広がっていますが、日銀はゼロ金利制約に直面しないような政策運営を目指すこととみられることから、国内長期金利の上昇圧力は残るとみています。

	1月17日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	1.20	0.01	0.12	0.18	0.59
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	355.61	0.05%	▲0.56%	▲0.61%	▲3.92%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202501\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202501_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 日本国債利回りの推移

（期間：2023年12月29日～2025年1月17日）



## NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2023年12月29日～2025年1月17日）



※2023年12月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成